

イヨカズラ

Vincetoxicum japonicum (C.Morren et Decne.) Decne.
キョウチクトウ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内でこれまで確認されている生育地は1か所である。品種のクロバナイヨカズラは県内2か所で確認されている。フナバラソウとの雑種と考えられる集団があり、さらなる調査が必要である。

種の特徴

海岸近い草地や疎林に生える多年生草本。茎は直立し高さ30～80cm。葉は対生し、楕円形で長さ3～10cm。花期は5～7月に葉の脇に散形花序をだし、径8mmくらいの淡い黄白色の花をつける。花冠は5つに裂けて平らに開く。

分 布

本州～九州に分布する。県内では坂井市で確認されている。また、品種のクロバナイヨカズラは高浜町、坂井市で確認されている。

生育を脅かす要因

海岸開発、土地造成による生育地の消失、また自然遷移の進行が生育地、個体数とも減少させる要因となっている。

参考文献 若杉孝生（2008a）、佐竹義輔ほか（1981）、福井県自然保護課編（2004）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
			○								○						

マメダオシ

Cuscuta australis R.Br.
ヒルガオ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】絶滅危惧ⅠA類

選定理由

生育地、個体数とも少ない。

種の特徴

日当たりの良い野原や海岸に生えるつる性の寄生植物。茎は細く糸状で寄主からみつき、黄色を帯びる。7～10月頃、無柄の花が数個束生する。花冠は長さ約2mmで、5裂する。

分 布

北海道～九州に分布。県内では嶺北地方の一部及び嶺南地方の一部で確認されている。

生育を脅かす要因

土地造成等による生育環境の消失や悪化のほか、産地が限られていることによる。

参考文献 佐竹義輔ほか（1981）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
						○										○	

アワゴケ

Callitriche japonica Engelm. ex Hegelm.
オオバコ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

小さな植物で確認記録も少なく、情報が不足している。

種の特徴

日蔭の湿気のあるところに生える一年草。茎は長さ1～4cm、根本から分枝して広がり、所々から根を出す。葉は対生し、倒卵形、3本の脈が平行に走り、長さ2～5mm、幅1～3mmと小さい。花期は5～6月。葉腋に1花をつける。

分 布

本州（栃木県以西）～琉球に分布し、県内一円で記録がある。

生育を脅かす要因

管理放棄による遷移の進行。

参考文献 福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○		○			○					○				○	○